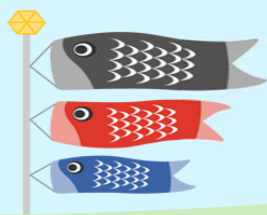


坂東地域アグリ通信



平成28年5月20日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel: 0297-34-2134 Fax: 0297-34-3291

「さしま茶ふれあい学習」が開催されました

5月9日（月），農業大学校園芸部において，茨城県茶生産者組合連合会坂東支部主催による，小学生向けのお茶摘み体験「さしま茶ふれあい学習」が開催されました。小学生に地元の特産品である「さしま茶」を知ってもらい，お茶に親しんでもらいたいという思いから毎年開催されているイベントで，今年は坂東市内13校の小学4年生502名が参加し，さしま茶の歴史を学び，お茶摘みや製茶工場の見学，新茶の試飲を行いました。

普及センターからは，「お茶の話」と題した紙芝居を使って，緑茶の特徴やさしま茶について説明し，摘み方を教えました。参加した小学生は，お茶を摘む位置である「一芯二葉（いっしんによう）」



に最初は戸惑っていましたが，すぐに要領をつかみ，楽しんで新芽を摘んでいました。

普及センターでは，今後もお茶の産地育成や地域特産品を知ってもらう食育活動を支援していきます。

第5回坂東レンゲまつりが開催されました

5月7日（土），坂東レンゲまつり実行委員会による第5回坂東レンゲ祭りが坂東市矢作の水田で開催されました。実行委員長は七郷中川土地改良区理事長，実行委員には坂東市内の土地改良区，坂東市，JA岩井，商工会，境土地改良事務所及び坂東地域農業改良普及センターの代表者が加わっています。

レンゲまつりは，緑肥を利用した環境にやさしい農業の推進や坂東市を広く内外に宣伝することを目的として開催されています。水田には，レンゲが15haおよびクリムゾクローバー4haが作付けされ，鮮やかな花を咲かせていました。

当日のイベントでは，野菜収穫体験や，ブーケコンテスト，フォトコンテスト等が開催され，参加者は12,000人と過去5年間で最も多くなりました。

レンゲの後作には大豆の作付を行います。普及センターでは環境にやさしい農業に対する取り組みを支援していきます。



農業には若さがある！

このコーナーでは、若手農家を訪問して、農業に対する思いなどをインタビューしています。

今月は古河市の山中崇士さんをご紹介します。山中さんは就農7年目で、ご家族と一緒にレタスやブロッコリー、キャベツなど、露地野菜を栽培しています。

「どうして就農しようと思ったのですか？」

もともと工場関係の会社で勤めていましたが、家族の事情により就農しました。

「就農してからの心持ちはどうですか？」

子供の頃から農作業を手伝っていましたが、就農してからは天気との戦いであり、ハウスやトンネルの換気管理など毎日チェックを行っています。

「今頑張っていることや心がけていることはありますか？」

毎年1回ずつ新しい品種を試すことです。栽培してうまく育った品種については、次回もチャレンジしていき、徐々に面積を増やしたいです。

「農業の魅力とつらいことは何ですか？」

新しい作型や試作がうまくいき、他の生産者より高い値段で出荷できたことです。また、天候によって収穫時期のタイミングが難しいところです。

「これからの目標は何ですか？」

労力が減っても、生産量を落とさないように取り組むことです。機械を導入したり、新しい方法や新しい技術など、効率よく農作業をしていきたいです。

「最後に一言お願いします！」

自分で作った野菜のPRと美味しい野菜作りに努め、地域の消費者に野菜を届けていきたいです。



～山中さんの家にて～

平成28年度アグリセミナー受講生募集！

※写真は昨年度の様子

アグリセミナーとは？

普及センターが主催する、就農して概ね3年目以内の方を主な対象とした、農業の基礎を学ぶための講座です。1年をとおして、土づくりや病害虫の防除方法、経営管理などについて、座学や実習、現地研修をまじえた実践的な内容の講座を10回程度実施する予定です。

興味のある方は普及センターにお問合せください。



〈お問合せ〉

坂東地域農業改良普及センター
TEL：0297-34-2134
(担当：遠藤・大川)

6月 土壌診断実施日のお知らせ



土づくり推進のため土壌診断を受け付けています。
個人等の農家の方が対象です。

6月9日(木)

6月23日(木) を予定しております。

※実施日は変更になることがありますので、ご了承ください。
また、結果のご連絡には数日かかる予定です。

編集後記

4月の異動で来て早やひと月半、怒涛のように過ぎて行きました。場所も仕事相手も新しく、刺激の多い毎日です。

(柴原)

